

2015 年 7 月 31 日

ユニキャリアホールディングス株式会社 株式の譲渡について

株式会社産業革新機構（以下、「INCJ」）は、保有するユニキャリアホールディングス株式会社の全株式について、三菱重工業株式会社及びニチュ三菱フォークリフト株式会社へ譲渡することを決定しましたのでお知らせ致します。

（参考）INCJ は、これまで以下のプレスリリースを公表しています。

フォークリフト事業統合に関する統合基本覚書の締結について（2011 年 11 月 29 日）

<http://www.incj.co.jp/PDF/1417598957.01.pdf>

フォークリフト事業統合に関する正式契約の締結について PDF ファイル（2012 年 4 月 20 日）

<http://www.incj.co.jp/PDF/1334898061.02.pdf>

ユニキャリアホールディングス株式会社について

設立	2011 年 11 月
事業内容	フォークリフト、コンテナキャリア、トランスファークレーン等 各種運搬機械の開発・製造および販売
所在地	東京都品川区南大井 6-22-7 ベルポート E 館
代表者	代表取締役社長 兼 CEO 志岐 彰
URL	http://www.unicarriers.co.jp/

三菱重工業株式会社について

設立	1950 年 1 月
事業内容	エネルギー・環境、機械・設備システム、交通・輸送、防衛・宇宙
所在地	東京都港区港南 2-16-5
代表者	取締役社長 宮永 俊一
URL	https://www.mhi.co.jp/

ニチュ三菱フォークリフト株式会社について

設立	1937 年 8 月
事業内容	バッテリーフォークリフト、エンジンフォークリフト、搬送用ロボット、自動倉庫、LAN 等の物流システム商品、電気自動車、モノレー ル等の開発・設計・製造・販売
所在地	京都府長岡京市東神足 2-1-1
代表者	代表取締役社長 ニノ宮 秀明
URL	http://www.nmf.co.jp/

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構 企画調整室 畑、大森

東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階

電 話：03-5218-7200（大代表）

[別紙]

1. 対象事業会社

ユニキャリアホールディングス株式会社

- ・ 設立 : 2011 年 11 月
- ・ 代表者 : 志岐 彰
- ・ 所在地 : 東京都品川区
- ・ 事業内容 : フォークリフト、コンテナキャリア、トランスファークレーン等各種運搬機械の開発・製造および販売

2. 支援決定概要

- ・ 支援決定金額 : 300 億円上限
- ・ 実投資額 : 300 億円
- ・ 共同投資家 : 日立建機株式会社、日産自動車株式会社
- ・ 株式保有割合（出資時）: 産業革新機構 53.3%、日立建機株式会社 26.7%、日産自動車株式会社 20.0%
- ・ 支援決定公表日 : 2011 年 10 月

<https://www.incj.co.jp/news/2011/20111129.html>

- ・ 投資ストラクチャー

図 <https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1417598957.03.pdf>

3. 経緯

（１）出資の経緯

2011 年 11 月、株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）、日立建機株式会社（以下「日立建機」）及び日産自動車株式会社（以下「日産自動車」）は、INCJ を中心として設立及び運営される新会社（以下「新会社」）の下、フォークリフト事業を行う日立建機及び日産自動車それぞれの子会社（TCM株式会社（以下「TCM」）、日産フォークリフト株式会社（以下「NFL」）、以下併せて「対象子会社」）の事業を統合することを目的として、統合基本覚書を締結し、2012 年 4 月、正式契約を締結しました。

日本のフォークリフトメーカーは、技術的には優位であるものの、市場獲得のために十分な事業規模を有していない企業が多く、今後成長の見込まれる新たな市場を獲得していくためには、戦略的な合従連衡・再編が不可欠です。このような市場環境下、新会

社は、既存の事業を維持・発展させるとともに、ASEAN を中心とした新興国市場や環境対応技術などの特定の分野に対して経営資源を集中投下することにより、未だ勢力図の固まっていない成長市場において高いシェアを獲得することを目指してきました。さらに、新会社は、中長期的に、国内外のフォークリフトメーカーとの段階的な統合を通じた再編を行うことも視野に入れ、グローバル・トップの一角を占める企業となることを志向してきました。

（２）事業の進捗

INCJ が統合の旗振り役を務め、当初計画を前倒しし、2013 年 4 月に NFL と TCM の統合を実現するとともに、積極的なハンズオン支援を行い、トップマネジメントの招聘等の経営体制の整備、マネジメントによる大胆な改革のサポート等を実施した結果、業績が大幅に向上する等の成果を達成しました。

（３）Exit の経緯・内容

今般、上記のような統合業務が完了したこと、及び事業規模の大きさが業績につながるフォークリフト業界の特性等を踏まえ、さらなる事業再編を主軸に備えた事業展開を模索してきました。

公正な売却プロセスを担保するために、国内外の大手同業他社へ打診してオークションを実施した結果、INCJ は、2015 年 7 月、保有するユニキャリアホールディングス株式会社の全株式について、三菱重エフフォークリフト&エンジン・ターボホールディングス株式会社及びニチュ三菱フォークリフト株式会社へ譲渡することを決定し、2016 年 3 月、その手続きを完了しました。

4. 主務大臣（経済産業大臣）の意見

意見なし